

- 1 日清戦争後の講和条約を何という？
① 日韓基本条約 ② 下関条約 ③ ポーツマス条約 ④ 南京条約
- 2 明治時代、八幡製鉄所の建設や日本の重工業発展の基盤となった、戦争の勝利によって得た資金を何という？
① 特別会計 ② 関税収入 ③ 賠償金 ④ 租税収入
- 3 近代的な議会政治において、国民の声や意思を国政に伝えるために選挙で選ばれた人を何という？
① 公選 ② 選任 ③ 任命 ④ 代表
- 4 明治時代の軽工業において、大量に生産され主要な輸出品となった繊維製品の一つを何という？
① 綿糸 ② 陶磁器 ③ 鉄鋼 ④ 機械
- 5 大日本帝国憲法下において、貴族院とともに立法権を行使し、貴族院と対等な権限を持っていた国民の選挙で選ばれる議院を何という？
① 参議院 ② 貴族院 ③ 衆議院 ④ 元老院
- 6 1889年に公布され、天皇を国家の主権者と定めた日本の近代的な憲法を何という？
① 大日本帝国憲法 ② 日本国憲法 ③ 五箇条の御誓文 ④ 大日本国国憲按
- 7 明治政府が掲げた、国家の軍事力を強め経済を発展させるためのスローガンを何という？
① 文明開化 ② 廃藩置県 ③ 殖産興業 ④ 富国強兵
- 8 鹿鳴館で欧米の外交官らを招いて行われた、近代化をアピールするための社交行事を何という？
① 文明開化 ② 舞踏会 ③ 鹿鳴館 ④ 欧化政策
- 9 明治時代の殖産興業政策によって、企業が利益を目的として運営され、生産と販売が行われる経済体制のことを何という？
① 計画経済 ② 重商主義経済 ③ 資本主義経済 ④ 市場経済
- 10 明治時代の日本の社会や国際関係を鋭く批判し、多くの風刺画を残したフランス人画家は誰？
① ビゴー ② ワーグマン ③ クラーク ④ フェノロサ
- 11 ペスト菌の発見や血清療法の開発など、細菌学の分野で世界的に活躍した医学者は誰？
① 野口英世 ② 北里柴三郎 ③ 志賀潔 ④ 高峰讓吉
- 12 小村寿太郎が外務大臣として、関税自主権の完全回復を実現した年はいつですか？
① 1905年 ② 1894年 ③ 1889年 ④ 1911年
- 13 1911年に日米通商航海条約を調印し、関税自主権の完全回復を達成した外務大臣は誰？
① 桂太郎 ② 陸奥宗光 ③ 井上馨 ④ 小村寿太郎
- 14 日清戦争後に結ばれ、日本が台湾などを清から割譲されることになった講和条約を何という？
① 北京条約 ② 下関条約 ③ アイグン条約 ④ 南京条約
- 15 1871年に明治政府が欧米へ派遣した、岩倉具視らが特命全権大使を務めた使節団を何という？
① 天正遣欧少年使節 ② 遣唐使 ③ 岩倉使節団 ④ 遣隋使



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	1895年に山口県下関で、伊藤博文と李鴻章によって調印されました。		2 下関条約	☐
2	1895年の日清戦争に勝利した日本は、清から多額の賠償金を得ました。		3 賠償金	☐
3	議会政治では、国民が直接全員で政治を行うことが難しいため、選挙を通じて「代表」を選びます。		4 代表	☐
4	特に軽工業において、綿糸や生糸の生産は非常に重要でした。		1 綿糸	☐
5	衆議院は制限選挙（直接国税を納める男子のみ）で選ばれた議員により構成されました。		3 衆議院	☐
6	1889年に公布された大日本帝国憲法は、天皇を主権者としつつ、議会や内閣のあり方を規定しました。		1 大日本帝国憲法	☐
7	富国強兵とは、産業を振興して国を豊かにし（富国）、軍備を拡張して国を守る力をつける（強兵）という政策目標です。		4 富国強兵	☐
8	外務卿の井上馨が建築した鹿鳴館において、西洋式の夜会や舞踏会が頻繁に開催されました。		2 舞踏会	☐
9	資本主義経済とは、民間企業が資本（お金や機械）を投資し、商品を生産して市場で売ることによって利益を上げる仕組みです。		3 資本主義経済	☐
10	ビゴーは日本に滞在し、当時の政治や社会現象を独特のユーモアと鋭い風刺を込めて描き続けました。		1 ビゴー	☐
11	ドイツに留学してコッホに師事した北里柴三郎は、破傷風の血清療法を世界で初めて開発し、帰国後にはペスト菌を発見するなど世界を驚かせる業績を挙げました。		2 北里柴三郎	☐
12	外務大臣であった小村寿太郎は、諸外国との粘り強い交渉を行い、1911年により早く関税自主権の完全回復を成し遂げました。		4 1911年	☐
13	外務大臣であった小村寿太郎は、諸外国と粘り強く交渉を重ねました。		4 小村寿太郎	☐
14	全権大使の伊藤博文と陸奥宗光らが交渉し、1895年に下関条約が結ばれました。		2 下関条約	☐
15	岩倉具視を特命全権大使とし、大久保利通や伊藤博文ら主要な政治家が参加しました。		3 岩倉使節団	☐

言えなかった用語ノート